

2007年度教員研究交流会報告

本会は、教職員がお互いの研究領域を知り共同研究を企画することにつながるのに有益であり、教職員の現在の研究を知り、理解することは大学の教職員の資質向上に非常に有益であるとして、発起人末藤美津子准教授・靱負正雄教授・岸本肇教授・福崎淳子講師・山極和佳講師らの努力の結果、各専攻委員会の趣旨賛同を得て、2007年5月25日教職員勉強会が発足した。2007年6月より原則として、毎月第1水曜日午後4時から6時過ぎまで会が開催されている。2007年度は11回開催され、23名の教員が研究についての話題を提供した。ほとんどの教職員が参加し、紹介された研究に対し、熱心にディスカッションし相互に勉強した結果、他分野の理解や視野が広がってきていると考えられる。そして、学内共同研究も数件発足することになった。各会の内容の詳細は以下のとおりである。

第1回 2007年6月6日(水) 本館3階会議室

話題提供者：出口保行教授・竹内貞一講師

(1) 出口教授

現在までの経歴と犯罪心理学研究について研究歴の四本柱(共感性研究・非行少年研究・成人犯罪者研究・刑事政策研究)について紹介があり、今後、本学で研究したいことが2件、その一つは地域防犯関係、もう一つは個別防犯関係であると説明された。

(2) 竹内講師

現在までの経歴とプロフィールが紹介され、音楽療法との出会い、音楽と心理の研究、特に抑うつ者の否定的自己スキーマと音楽の実験研究が紹介された。今後の研究の関心事と臨床上の関心事について説明があった。

第2回 2007年7月4日(水) 本館3階会議室

話題提供者：近藤俊明教授・岩崎智史助手

(1) 近藤教授

現在までの経歴と臨床活動について説明があり、科研費の萌芽研究「大学院附属心理相談室と地域スクールカウンセラーの相互援助・協力体制の研究」について詳しく説明された。

(2) 岩崎助手

自己紹介とこれまでの研究が紹介され、「香りの被暗示性に与える効果について」の実験研究が詳しく説明された。

第3回 2007年8月1日(水) 本館3階会議室

話題提供者：光野公司郎准教授・春日武彦教授

(1) 光野准教授

現在までの経歴について説明があり、東京未来大学「国語」「国語表現」の指導の方向性について、これからの時代に求められる国語の力、国語指導の現状と課

題、倫理的思考力の育成の必要性、東京未来大学における指導の実際と成果について詳しく説明がされた。

(2) 春日教授

自己紹介とこれまでのたくさんある著書の中からいくつか内容が紹介され、精神科医の立場からユーモアをまじえて、詳しく説明された。

第4回 2007年9月5日(水) 本館3階会議室

話題提供者：福崎淳子講師・馬場伊美子教授・靱負正雄教授

(1) 福崎講師

現在までの経歴について説明があり、研究方法が実験的研究からフィールド研究に転換したこと、その転換のエピソードをはじめとして、『みてて』発話研究」が詳しく説明され、事例から紡ぎだされる幼児の心の動きと行為の意味の深さが述べられた。

(2) 馬場教授

自己紹介とこれまでの研究の中からいくつか内容が紹介され、特に「子どもの分割行動の発達」について、分数指導の視座から詳しく説明された。さらに馬場教授が代表を務める「情報リテラシー教育研究会」の研究と研究会活動が紹介された。

(3) 靱負教授

自己紹介とこれまでのサルを使った神経解剖学・神経行動学・神経生理学のたくさん研究の中からいくつか内容が紹介され、最後に NIRS を用いた今後の研究について説明がされた。

第5回 2007年10月3日(水) 本館3階会議室

話題提供者：大橋恵講師・岸本肇教授

(1) 大橋恵講師

現在までの経歴について説明があり、社会心理学について解説があり、研究例として、自己高揚バイアスについて詳しく説明があった。今後の課題として心理プロセスの解明であり、いま、関心があるのは「みんなの価値についての推測と自分の価値観にずれることが多々あること」であり、今後の研究テーマであると述べられた。

(2) 岸本教授

自己紹介とこれまでの体育教育学の研究をたくさん著書の中からいくつか説明があり、論文よりも読んで欲しい報告書や随筆、スポーツ指導書、遊びの本などの紹介があった。そのあと、具体的な研究紹介として、「統計から体育を見る 足立の子ども研究」、「ドイツ兵捕虜のスポーツ活動」についてたくさんの資料とともに解説がなされた。

第6回 2007年10月31日(水) 本館3階会議室

話題提供者：藤後悦子講師・皆川順教授

(1) 藤後講師

自己紹介と現在までの職歴、臨床経験、運動表現療法、アドラー心理療法について

説明があり、たくさんの研究の中から、「中学校における心理教育プログラムの実践」について詳しく述べられた。

(2) 皆川教授

自己紹介とこれまでの研究の中からいくつか内容が紹介され、「長期記憶からの検索における検索量の定量的予測」について、生徒が作成した概念地図の例をもとに詳しく説明された。

第7回 2007年11月7日(水) 本館3階会議室

話題提供者：田中マユミ教授・磯友輝子講師

(1) 田中教授

現在までの職歴、マネジメントの経歴、たくさんの著書について説明があり、多くの研究の中から、「教育実習体験と教職志向性 教育実習生のストレス対処をもとにして 」について詳しく説明された。

(2) 磯講師

現在までの経歴について説明があり、これまでの研究の中から、自由記述データを用いて分析された「社会的スキル水準によるコミュニケーションの上手さの認知の相違」について、社会心理学の立場から詳しく説明された。

第8回 2007年12月5日(水) 本館3階会議室

話題提供者：府川昭世教授・小田桐忍准教授

(1) 府川教授

自己紹介と現在までの職歴、研究について説明があり、吃音指導の臨床経験の中からたくさんの研究が生まれ、詳しい資料をもとに説明された。特に“Identification Thresholds of Nonsense Syllables by Stutterers”の研究、“DAF 感受性の性差 - 課題の難易の影響 ”などについて詳しく解説された。

(2) 小田桐准教授

自己紹介とこれまでの研究の中からいくつか内容が紹介され、「伝統の中で学ばー生きる」をテーマに、一人の大学人として、一人の学者として、一人の本学構成員として、に関してそれぞれ法学的立場から詳しく説明された。

第9回 2008年1月30日(水) 本館3階会議室

話題提供者：高田隆准教授・山極和佳講師

(1) 高田准教授

自己紹介と現在までの職歴、研究について説明があり、武蔵野東学園の自閉症児教育について紹介があり、たくさんの著書や研究の説明があった。さらに現在の研究「インクルーシヴ教育」について詳しく解説された。

(2) 山極講師

自己紹介とこれまでの研究の中からいくつか内容が紹介され、「催眠法を用いた意識状態に関する研究」と「語彙分析を用いた心理療法過程に関する研究」について、データ解析をもとに詳しく説明された。

第10回 2008年2月6日(水) 本館3階会議室

話題提供者：大西文行教授・益井洋子教授

(1) 大西教授

自己紹介と現在までの職歴、道徳性心理学研究について説明があり、大西教授に感動と影響を与えた、多くの心理学者について解説がなされた。そして、大西教授が主催する JAMP(Japan Research of Morality Psychology)の研究と研究会活動が紹介された。

(2) 益井教授

自己紹介、体操との出会い、これまでの体操競技指導について紹介され、最近の研究から「保育養成における公共文化施設の利用を通しての学び」、「学生の体力測定の結果」、「親子サークルの立ち上げ」などについて、詳しく説明された。

第11回 2008年3月5日(水) 本館3階会議室

話題提供者：伊藤恵子准教授・金塚基助教

(1) 伊藤准教授

自己紹介と現在までの職歴、研究について説明があり、「自閉症児におけるコミュニケーションの特徴」について指示詞の理解からみた語用論的特徴が詳しく説明された。今後の課題として、自閉症のコミュニケーション支援の在り方を追求すると述べられた。

(2) 金塚助教

自己紹介とこれまでの研究の中から、「親の教育期待に関する社会学的研究」について、説明された。さらに、国際調査の中から、広州市内の幼稚園の子どもたちの環境調査について現状報告がなされた。今後は足立区についての保育園調査の意向が述べられた。